

Zoom講習会
事前抄
歯科衛生士さんに知っていただきたい
小児歯科の基本と最近のトピックス
仲野和彦 (大阪大学大学院歯学研究所小児歯科学教室教授)

小児歯科医として子どもたちの歯科治療に携わって25年になる。これまで、小児歯科治療における歯科衛生士さんの存在の重要性を実感してきた。歯科衛生士さんは、子ども達に近く、保護者にも近く、気軽に何でも話せる存在である。実際に、子ども達や保護者の様々な思いを、歯科衛生士さんからこっそり教えてもらうことも多い。

私自身、これまでに日々の診療において、数え切れないほど歯科衛生士さんに助けられてきた。これは、大学病院の小児歯科医である私たちだけに当てはまることではなく、開業歯科医院などで子ども達の歯科治療を行う

先生方でも同様であると思われる。そこで、多くの歯科衛生士さんに改めて「小児歯科の基本」を知っていただき、臨床現場で役立ててもらいたいという思いが日に日に強くなってきている。

本講演では、まず小児歯科領域の知識を整理していただくために、教科書的な基本をまとめてお話ししたいと考えている。特に、う蝕、歯周疾患、歯列咬合、外傷など、日常臨床で遭遇する症例における基本的な事項に関して、歯科衛生士さんに知っておいていただきたい内容を中心にお話ししたい。それらを踏まえて、年齢別の患者の取り扱い方や定期検診時

のポイントなどについて、さらに理解が深められるように情報提供をしていきたい。また、小児歯科医として、保護者には是非お伝えいただきたいと考えている内容を挙げていきたい。

最後に、最近小児歯科領域で話題になっているトピックスに関していくつかお話ししたいと考えている。本講演を通じて、小児と保護者にとってよりよい歯科治療を提供する上での良きパートナーとして、明日からの新たな一歩を踏み出していいただく契機になることを願っている。

日時等の詳細は「協会行事案内」参照。



8月、坊さんが忙しげに袈裟を着たまま檀家を駆け巡っていた。この光景を「奇妙」と受け取ったのは16、17世紀に遠路ポルトガルから来日していた宣教師ルイス・フロイスだった。

「この国では聖職者が教会で信者を待ち受ける

僧侶の義弟

篠部正夫 (西淀川区)

のではなく、信者の家へ出かけサービスをする」と述べ、他にも自国とあべこべな日本の習慣を100以上も列記して本國に書き送っている。400年以上経って、この文書は日本語に翻訳されて書店に並んだ。このアベコベ物語は今もあまり変わっていない部分が多い。

私は縁あって坊さんが義父になったが、日頃暇

のではありません、信者の家へ出かけサービスをする」と述べ、他にも自国とあべこべな日本の習慣を100以上も列記して本國に書き送っている。400年以上経って、この文書は日本語に翻訳されて書店に並んだ。このアベコベ物語は今もあまり変わっていない部分が多い。

私は縁あって坊さんが義父になったが、日頃暇

そうに植木の世話なんかしている義父だが、盆時には黒衣を纏って忙しうにしているのを目撃した。他人の苦勞が少しは分かる年になっていた私は「坊さんって、法要でお経を読んでいる時便意を催すとう対処するのかな」と同情的疑問を持た

義父の後を継いだ義弟に直接この疑問をぶつけてみた。義弟は「そのため分厚い袈裟を着るんや。中でたれていてもわ

からんやろ」と答えた。「でも臭いやろ」と私。「そのため香を焚くんや」と義弟。「香は蚊避けとちがうんか」と私。

先代と違って義弟は近所の他種宗教家と交流が頻繁である。イスラムもアーメンも共通テーマを「世界平和」に据えれば仲良くなれそうと考えた。だが外国語は苦手で横文字の文書類は義兄の私にすぐ頼る。

ある日、その義弟が電

話で私に質問した。「プロテスタントって何でんねん」と。どうやら坊さんの教育の過程では「世界の宗教史」なんかなくて、自宗派の教義だけをドグマチックに教えるらしい。ひょっとすると、2000年も昔から今現在も喧嘩を続けているイスラム教とキリスト教のことなんかあまり知らないのかも知れない。

義弟は坊さんだから土地の名士である。方言まじりだが人前の挨拶や

コロナ禍の情報発信へ

近畿総決起会がWEBページ

近畿各府県の保険医協会や民主医療機関連合会、社会保障推進協議会などでつくる近畿総決起会実行委員会は、コロナ禍の生活支援情報や社会保障改悪を知らせるWEBページを8月に公開した(写真)。同実行委員会は、コロナ禍で集会や宣伝行動などの活動が制限されるなか、多くの人に閲覧してもらい、自公政権が進める病床削減や患者負担増の実態を知らせて改悪をストップさせたいとして、WEBページの拡散を呼びかけている。

WEBページは「コロナ禍の近畿生活支援・情報発信プロジェクト」情報発信プロジェクトエクト&井ココロに虹を」として、近畿各府県のフードバンク情報や社会保障

制度の活用などを知りたい。各団体が取り組んだ社会保障改悪に関する学習会動画やパンフレットなどを掲載している。WEBページへのアクセスは次のQRコード

たは、「井ココロに虹を近畿総決起会」で検索。



患者からの暴力被害 予防と対応法を学ぶ

大阪市北部地区と同東部地区、三島地区は合同で「患者からの暴力・ハラスメントの予防と対応」を8月28日にZoomで開いた。

講師を務めた関西医科大学の三木明子教授は、全日本病院協会の調査で精神的暴力を含め、「過去1年間に院内暴力を経験した職員」が52.1%に上ったことを指摘。予防と対策の重要性を強調した。

岐阜県での歯科医師殺

書事件や病院での被害事例などを示しながら対応法を解説。加害者へは「暴力は許さない」、被害者へは「あなたを守る」との対応方針を明示するとともに、対策マニュアルの12のポイントを紹介した。

職員の研修・訓練の必要性を指摘し、暴力防止啓発ポスターの活用を提起し、「暴力・ハラスメントは、『しない・させない・許さない』の徹底を」と呼びかけた。

協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



西部地区講習会
消費税・インボイス対応セミナー
日時 9月26日(日) 午前10時〜午後1時
会場 保険医会館5階
講師 疋田英司氏(協会顧問税理士)
会費 会員無料 定員 30人

会員限定
歯初診・外来環・歯援診・か強診の施設基準に係る研修会
日時 10月3日(日) 午前10時〜午後4時30分
会場 M&Dホール、保険医会館
講師 歯初診・外来環・中原寛和氏(大阪市立大学大学院医学研究科 歯科・口腔外科学教室教授)
歯援診・か強診・高橋一也氏(大阪歯科大学 高齢者歯科学講座教授)
会費 5千円 定員 80人
※基本は1日通しての参加です
※昼食は各自準備ください
※申込多数の場合は、サテライト会場のご受講になる可能性があります

「Zoomのみ」歯科衛生士対象
歯科衛生士さんに知っていただきたい小児歯科の基本と最近のトピックス
日時 10月10日(日) 午前10時〜午後1時
会場 ZoomによるWEB講習会
講師 仲野和彦氏(大阪大学大学院歯学研究所小児歯科学教室教授)
会費 5千円 定員 90人
※お申し込みは協会ホームページ「行事予定」からお申し込みください。

大阪市西部・南部地区スタッフ対象講習会
医療接遇研修
日時 10月17日(日) 午前10時〜午後1時
会場 保険医会館5階
講師 吉田富貴子氏(接遇マネーインストラクター)
会費 会員院所スタッフ3千円 定員 20人

医師・歯科組織部共催講習会
医学部受験セミナー・個別相談会
日時 10月17日(日) 午前10時〜午後1時
会場 保険医会館2階
講師 医学部受験MEP
会費 会員・家族無料、未入会者1万円 定員 5人

無料相談
法律 10月11日(月) 午後2時〜4時
税務 10月20日(水) 午後2時〜5時
雇用 10月21日(木) 午後2時〜4時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

談話室 だんわ室